

**Express5800 シリーズ**  
**2.5inch SAS ソリッドステートドライブ (SSD)**  
**KIOXIA (旧東芝) 製対象 SSD 確認手順書**  
**Rev. 3.1   【2022/ 2/08】**

**概 要**

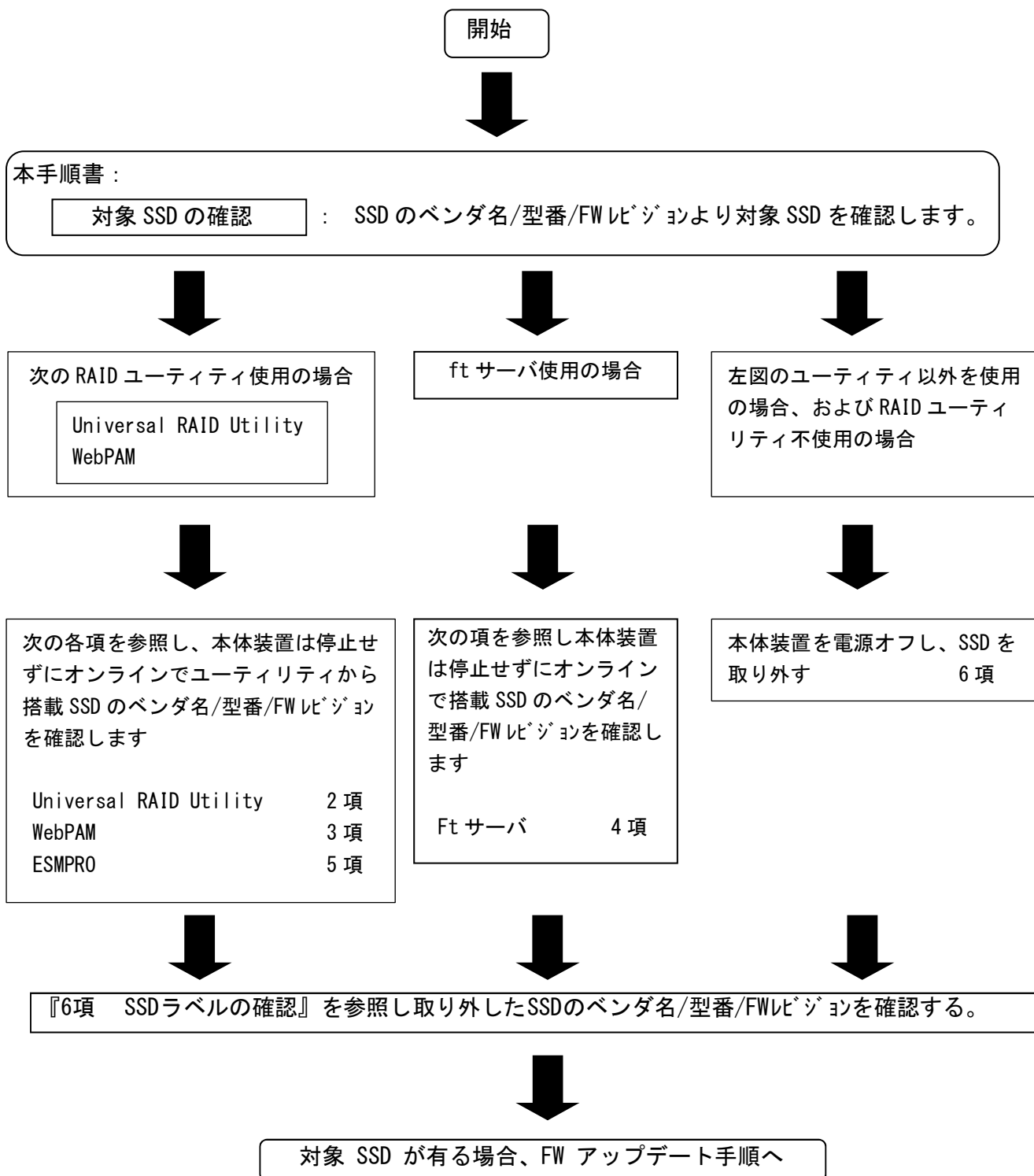
本手順書は、対象 SSD と FW Rev. を確認する手順を示すものです。

本書に記載されている手順に従い、対象 SSD と FW Rev. 確認を実施してください。

## 1. 対象 SSD 確認手順

対象 SSD は、SSD のベンダ名／型番／FW レビジョンから確認します。

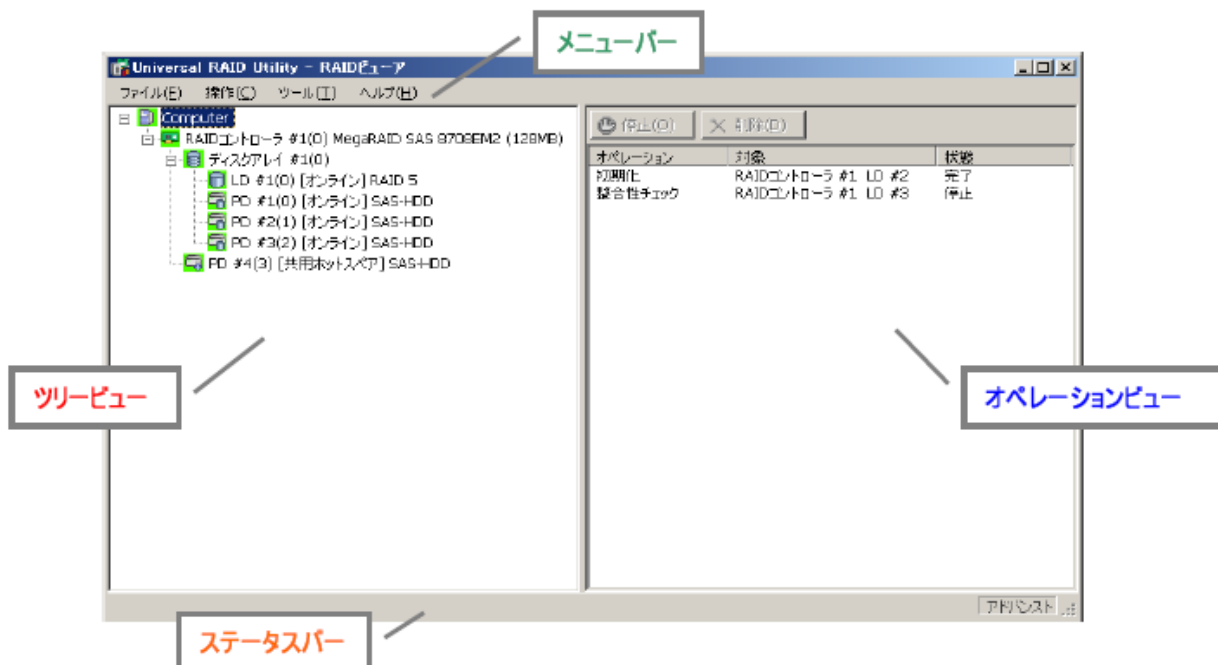
SSD のベンダ名／型番／FW レビジョンの確認方法は、インストールされている RAID ユーティリティにより異なりますので、システム構成を確認し、以下から該当するユーティリティのページを参照して作業を実施して下さい。



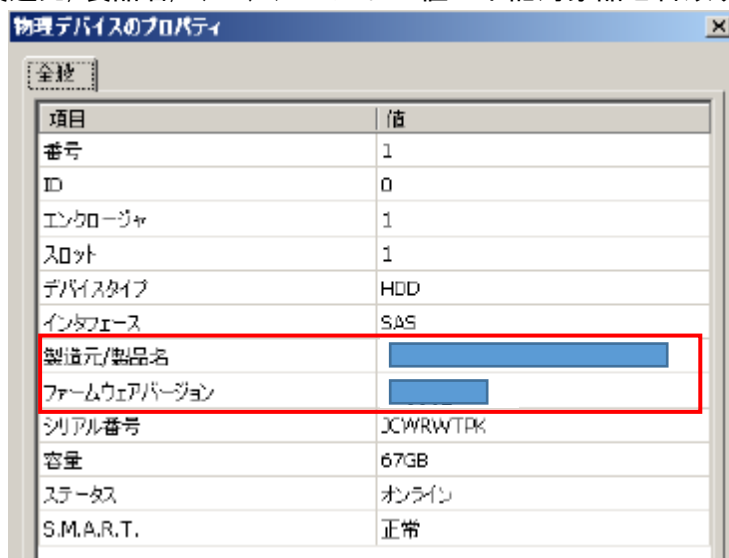
## 2. Universal RAID Utility による SSD 判別手順

### 2-1. Windows の場合

- ①RAID ビューを開く
- ②ツリービューより接続されている物理デバイス (PD) クリックし、ファイルメニューでプロパティをクリックします。



- ③製造元/製品名/ファームウェアバージョンの値が下記対象品と合致するか確認します。



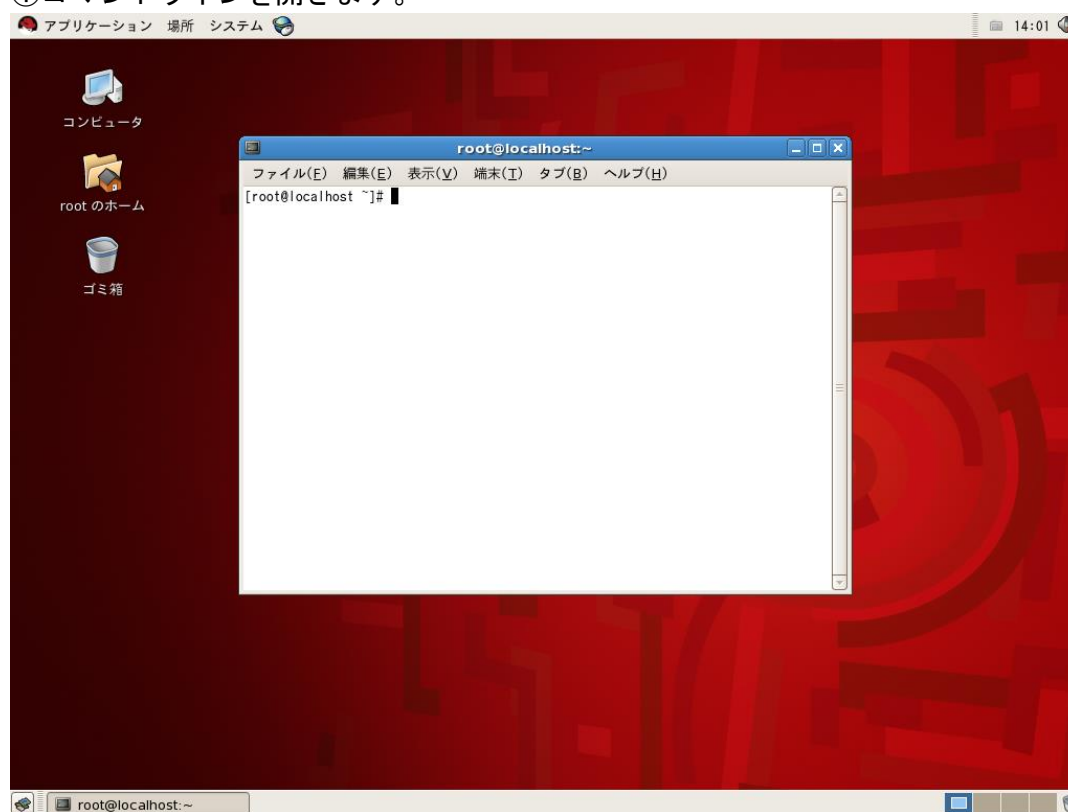
■ 製造元/製品名 : (1) TOSHIBA PX02SMF020  
(2) TOSHIBA PX02SMF040

■ ファームウェアバージョン : 3 5 0 2

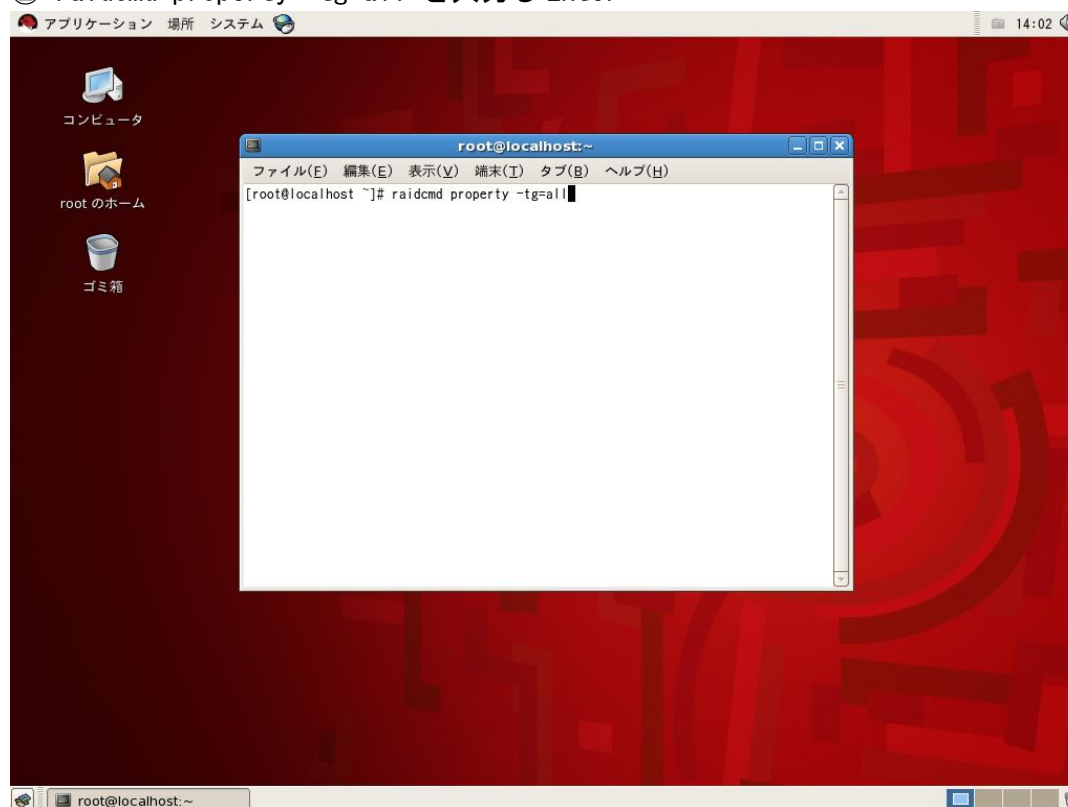
※上記 製造元/製品名、ファームウェアバージョン以外のものは、対象外です。

## 2-2. Linux の場合

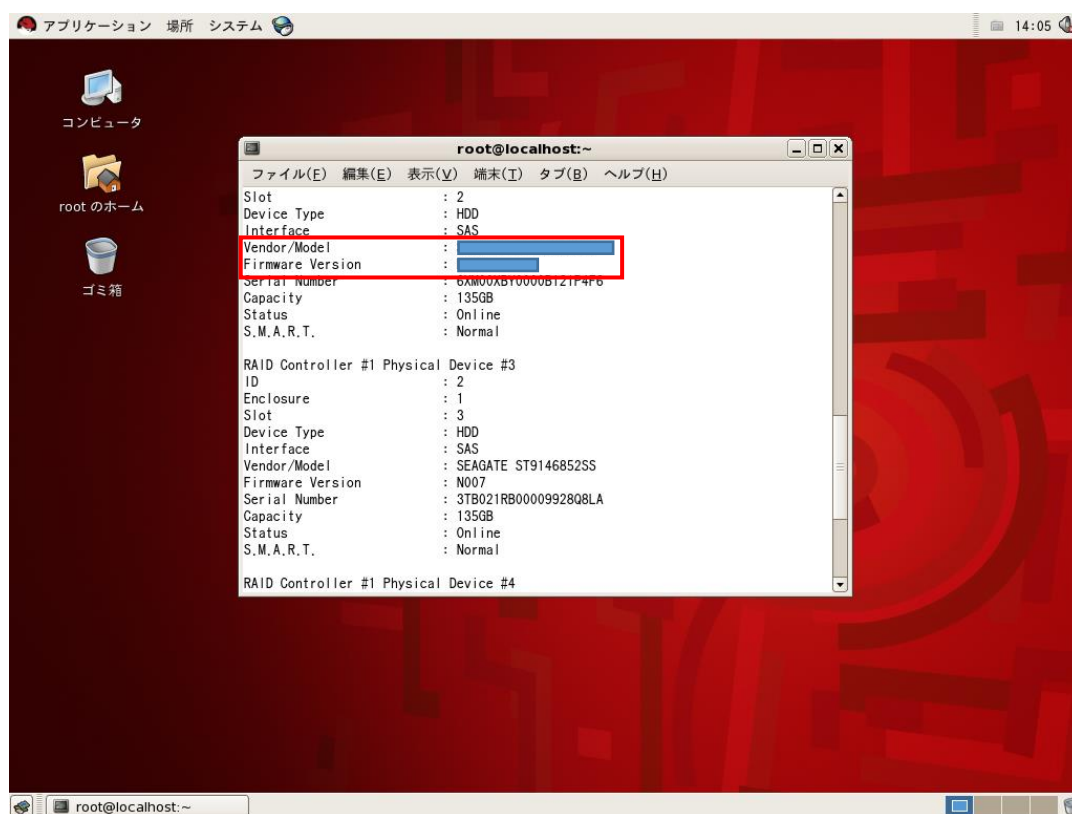
①コマンドラインを開きます。



② raidcmd property -tg=all と入力し Enter



- ③接続されている全ての SSD の詳細情報が出力されるため、Vendor/Model、Firmware Version の値を確認します。

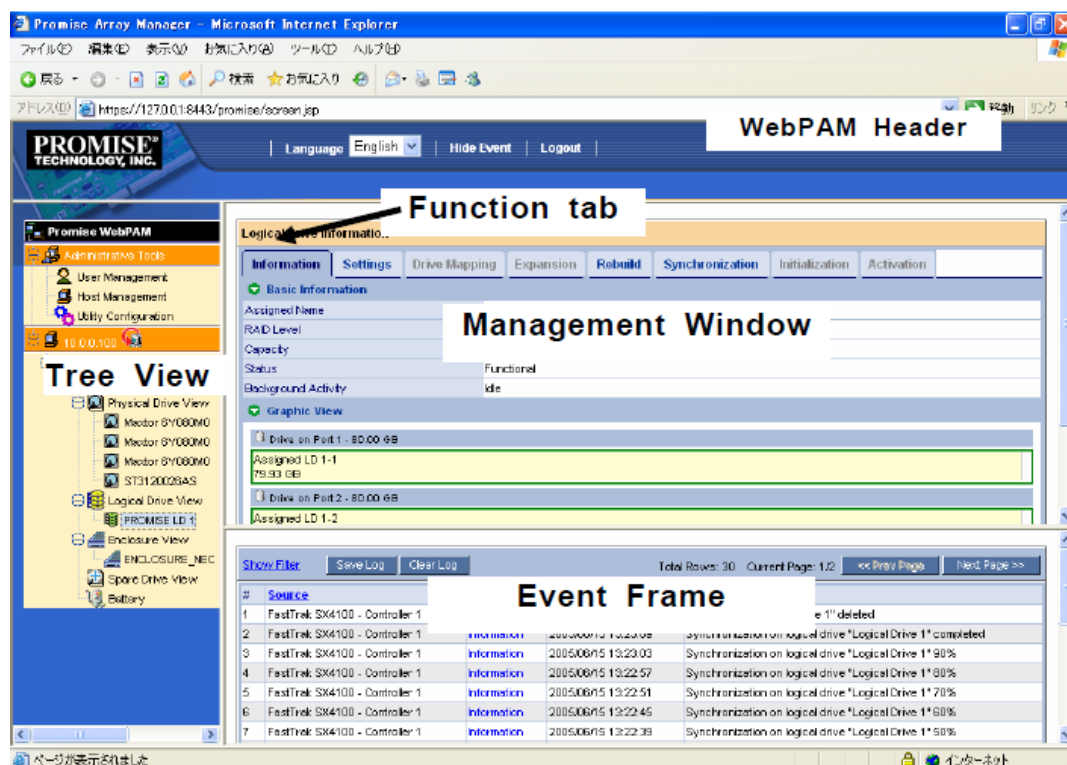


- Vendor/Model : (1) TOSHIBA PX02SMF020  
(2) TOSHIBA PX02SMF040
- Firmware Version : 3 5 0 2

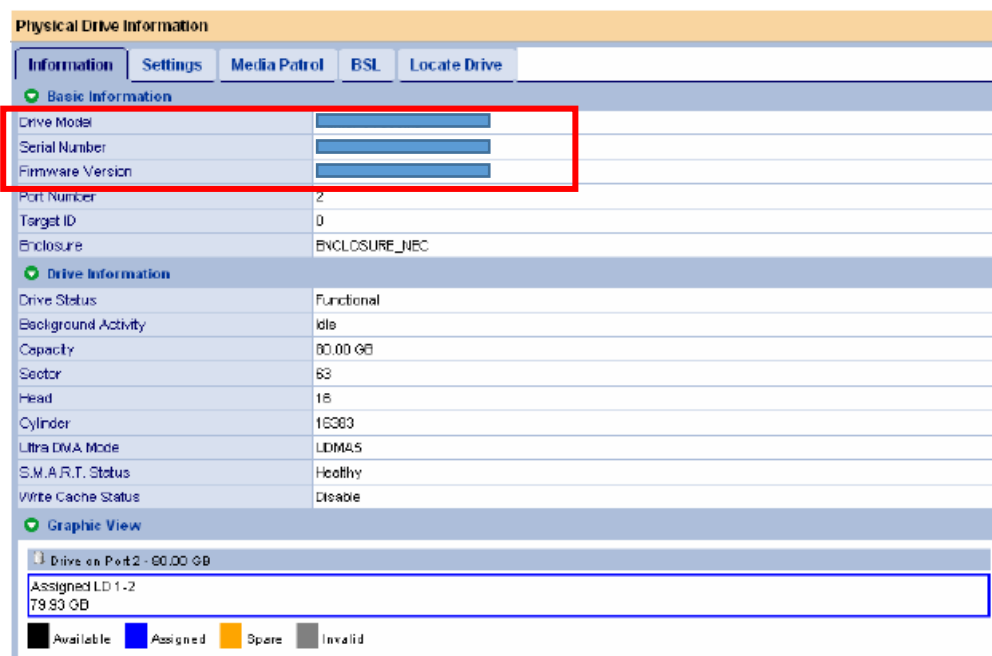
※上記 Vendor/Model、Firmware Version 以外のものは、対象外です。

### 3. WebPAM による SSD 判別手順 ※手順は Windows/Linux 共通です。

- ①WebPAM を開きます。
- ②Tree View から目的の SSD をクリックします。



- ③以下の Physical Drive Information が Management Window に表示されるので、Drive Models、Firmware Version を確認します。



■ Drive Models : (1) TOSHIBA PX02SMF020  
(2) TOSHIBA PX02SMF040

■ Firmware Version : 3 5 0 2

※上記 Drive Models、Firmware Version 以外のものは、対象外です。

#### 4. FT Server の SSD 判別手順

【注意】ft サーバでは、装置本体が二重化（装置前面の「システム FT ランプ」が緑点灯）している状態で確認を行ってください。

##### 4-1. Windows の場合

- ①RDR Utility を開きます。
- ②SSD の接続されている Slot にカーソルをあてるとウィンドウ右側に詳細情報が表示されます。

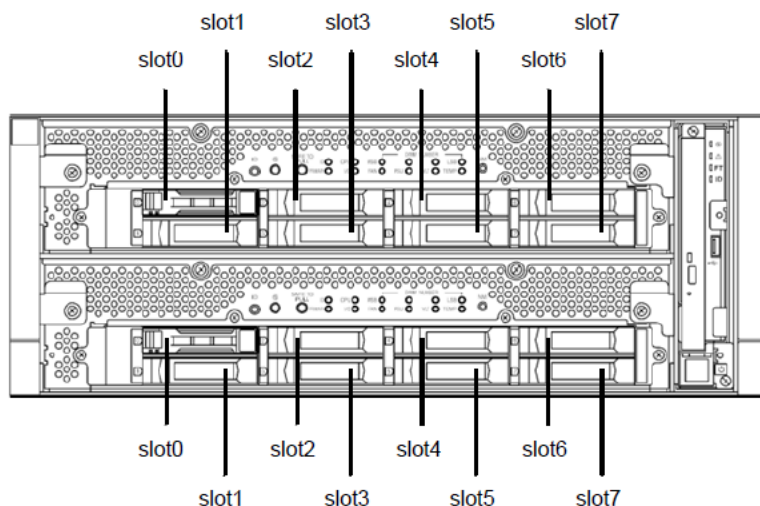


- ③「ベンダ名」「プロダクト ID」「プロダクトレビジョン」の欄から対象品かどうかを確認します。

- ベンダ名 : TOSHIBA
- プロダクト ID : PX02SMF020
- プロダクトレビジョン : 3502

※上記 ベンダ名、プロダクト ID、プロダクトレビジョン以外のものは、対象外です。

内蔵ディスクの実装位置と RDR Utility で表示される Slot との関係は以下の図を参照してください。



## 4-2. VMware の場合

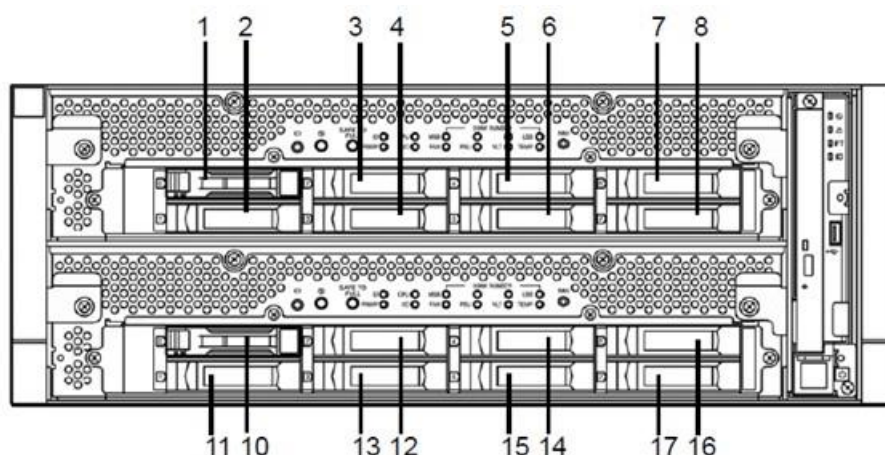
- ①ft 管理アプライアンスへログインします。
- ②対象 SSD のベンダ名、型番、FW レジジョンを確認するために、ft 管理アプライアンスのコンソール上で、以下のコマンドを実行します。

# /opt/ft/bin/ftsmaint ls <path>

上記の<path>には、装置に実装されているディスクのデバイスパスを指定します。

実装ディスクとデバイスパスの関係は以下になりますので、それぞれ、実装されているディスクのデバイスパス (10/40/\*) (11/40/\*) を確認して、コマンドを実行してください。

【ft サーバ上でのディスク搭載位置とデバイスパスとの関係】



上図の番号	デバイス	デバイスパス
0	--	--
1	内蔵ハードディスクドライブ 1	10/40/1
2	内蔵ハードディスクドライブ 2	10/40/2
3	内蔵ハードディスクドライブ 3	10/40/3
4	内蔵ハードディスクドライブ 4	10/40/4
5	内蔵ハードディスクドライブ 5	10/40/5
6	内蔵ハードディスクドライブ 6	10/40/6
7	内蔵ハードディスクドライブ 7	10/40/7
8	内蔵ハードディスクドライブ 8	10/40/8
9	--	--
10	内蔵ハードディスクドライブ 1	11/40/1
11	内蔵ハードディスクドライブ 2	11/40/2
12	内蔵ハードディスクドライブ 3	11/40/3
13	内蔵ハードディスクドライブ 4	11/40/4
14	内蔵ハードディスクドライブ 5	11/40/5
15	内蔵ハードディスクドライブ 6	11/40/6
16	内蔵ハードディスクドライブ 7	11/40/7
17	内蔵ハードディスクドライブ 8	11/40/8



コマンドを実行すると、デバイスパスで指定したディスクのステータスが表示されます。  
＜例：10/40/1 を指定した場合＞

```
# /opt/ft/bin/ftsmaint ls 10/40/1
H/W Path : 10/40/1
Description : Disk Drive
State : ONLINE
Op State : DUPLEX
Reason : NONE
Modelx : ****:*****
Firmware Rev : ****
Serial : *****
～＜省略＞～
```

③赤枠部に Modelx、Firmware Rev が表示されるので対象品か確認を行ないます。

■ Modelx : TOSHIBA PX02SMF020

■ Firmware Rev : 3 5 0 2

※上記 Modelx、Firmware Rev 以外のものは、対象外です。

#### 4－3. Linux の場合

- ① root ユーザでログインします。
- ② 以下のコマンドを実行します。

# ftdiskadm

```
# ftdiskadm

Command action
 1 List RAID Arrays
 2 List Internal Disks
 3 Make Mirroring Arrays (RAID1)
 4 Repair Mirroring Arrays (RAID1)
 5 Delete Mirroring Arrays (RAID1)
 6 Remove Disk Partitions (RAID1)
 7 Make Striping Array (RAID1+0)
 8 Delete Striping Array (RAID1+0)
 c Configurations
 q Quit

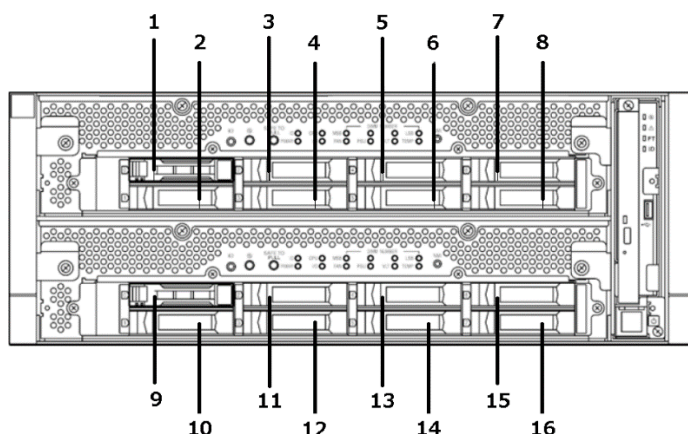
Command:
```

- ③ 「2 List Internal Disks」を実行します。

- ④ 装置前面のハードディスクドライブスロットに実装されているディスクに対して、認識されているディスクの一覧が表示されます。

[List Internal Disks]				
Slot	Name [Use]	Information (Vendor/Model/Serial)	Path	
1	104001 (sdq) [0]	xxxx/xxxxxxxx /xxxx	h1c0t010	
2	-			
3	-			
4	-			
5	-			
6	-			
7	-			
8	-			
9	114001 (sdr) [0]	xxxx/xxxxxxxx /xxxx	h2c0t010	
10	-			
11	-			
12	-			
13	-			
14	-			
15	-			
16	-			

ftdiskadm コマンドで使用するディスクの Slot 番号と実際のディスクの搭載位置との関係は以下になります。



Information (Vendor/Model/Serial)にて、以下の FW アップデート対象 SSD の型番があるか確認してください。

[List Internal Disks]				
Slot	Name [Use]	Information (Vendor/Model/Serial)	Path	
1	104001 (sdq) [0]	xxxx/xxxxxxxx /xxxx	h1c0t010	
2	-			
3	-			
4	-			
5	-			
6	-			
7	-			
8	-			
9	114001 (sdr) [0]	xxxx/xxxxxxxx /xxxx	h2c0t010	
10	-			
11	-			
12	-			
13	-			
14	-			

- Vendor : TOSHIBA
- Model : PX02SMF020

※上記 Vendor、Model 以外のものは、対象外です。

## 5. ESMPRO による SSD 判別手順

### 5-1. ESMPRO/ServerManager の場合

#### ①物理デバイスのプロパティを参照

物理デバイスの情報は、物理デバイスのプロパティで参照します。

物理デバイスのプロパティを参照するには、ローカルナビゲーションで参照したい物理デバイスをクリックします。

物理デバイスのプロパティには、〔全般〕があります。〔全般〕プロパティは、物理デバイスのプロパティを表示します。

プロパティの参照	
項目	値
全般	
エンクロージャ	63
エンクロージャ接続位置	ポートB 1番目
スロット	0
ID	64
デバイスタイプ	SSD
インタフェース	SAS
製造元/製品名	
ファームウェアバージョン	
シリアル番号	9310400L15YA
セクターフォーマット	512
容量	185GB
ステータス	✓ オンライン
S.M.A.R.T.	✓ 正常
寿命残量	✓ 安全(100-51%)
電源状態	電源オン

#### ② 赤枠部に製造元/製品名、ファームウェアバージョンが表示されるので対象品か確認を行ないます。

■ 製造元/製品名 : (1) TOSHIBA PX02SMF020  
(2) TOSHIBA PX02SMF040

■ ファームウェアバージョン : 3 5 0 2

※上記 製造元/製品名、ファームウェアバージョン 以外のものは、対象外です。

## 6. SSD ラベルの確認

SSD を取り外したら、ラベルに印字されているラベルー 1 にて対象であることを確認します。  
下図の赤枠内がラベルー 1 の位置です。

- ・ K0X1A (旧東芝) 製 SSD



< ラベルー 1 確認内容 >

- 型 番 : (1) WSD 1 1 2 - 1 2 0  
(2) WSD 1 1 2 - 1 2 9  
(3) WSD 1 1 2 - 1 3 0
- CONFIG CODE : 0 1 A

※上記 ラベルー 1 の型番、CONFIG CODE 以外のものは、対象外です。

.....

以上で対象 SSD の確認手順の説明は終了です。